

すべての人に  
やさしい  
医療・介護を

# 羽生田だより

令和3年(2021年)5月発行 25号

自民党  
自由民主党群馬県参議院  
北区第8十二支部



## 今こそ医師としての 使命と責任を



三原じゅん子副大臣、  
神奈川県医師会菊岡正和会長  
と羽生田俊によるリモート鼎談

コロナ禍において、緊急事態宣言もあり関東一円の対応が強化されました。神奈川県は政令指定都市を県内に3市かかる全国でも稀な県であり、医療圏においても周辺自治体とあわせて広域になるなど県内だけで解決できることがばかりでは無いと認識しております。

コロナ対応において、プリセンセスダイヤモンド号の横浜港への対応や、現在のワクチン接種への対応など地域の特性も大きく変化したと思います。

その中においても三原じゅん子副大臣が担当されている「働き方改革」や「多様な働き方」といった取組みを始め様々な課題

まさに今、県下全域で通常の診療、そしてコロナ患者対応を続けながら、新型コロナワクチン接種が医療者の優先接種として4月半ばからは高齢者接種、その後にはじまる住民接種についても地域の実情にあつた形での接種の準備も進めているところであり、各地域の医師会や医療関係者には実施準備も含め大変な苦労を頂いているところであります。しかし

ながら、未だに医療従事者のワクチン確保が不確定で、高齢者接種に執務する医療従事者が

## 新型 コロナウイルス ワクチン接種 について が判断することが必要

ワクチン情報を開示し、接種する・しないを本人

が判断することが必要

ます。

また先日私が国会質問いたしましたが、新型コロナワクチン接種に関してワクチン情報をきちんと開示し、リスクとベネフィットを理解した上で接種する・しないを本人が判断する、というが必要です。そのことからも三原副大臣が政治活動として取り組まれておられるHPVワクチンに関しては「接種適齢期・接種対象の方にすら情報が全くない」という状態が続いているのが必要です。そのことからも三原副大臣が政治活動として取り組まれておられるHPVワクチンに関しては「接種適齢期・接種対象の方にすら情報が全くない」といました。また子宮頸がんに関してはワクチン接種とともに健診が重要である旨も申し添えました。

菊岡正和・神奈川県医師会会長

三原じゅん子 厚生労働副大臣  
菊岡会長のご意見は、医療現場

学校保健や産業保健などをはじめ地域での健康イベントやがん検診など、さまざまな地域活動とつながり我々医師会員は地域医療を支えてきた自負があります。また働き方改革で地域医療の継続性が揺らぐことがあってはならないと思っています。是非そのところを汲んだ実情にあつた改革を遂行して欲しいと考えています。くれぐれも改革ありきの押し切りは医療においては絶対にあってはなりません。

マルとして「多様な働き方」は必要な事項になると思っています。例えば医療においても女性医師の数が増えているという状況もあります。女性医師の活躍や働き方改革のあり方も重要なカギとなると思います。医師会では「女性医師支援センター」等もいち早く事業として乗り出しておりました。これは時代と共に変化は必要と感じますが、多様な働き方を選択できて、患者のニーズ・そして医療現場を支えてゆける両輪を体制構築してゆくことで変わるものもあると考えています。昨今は不妊治療なども保険適用の議論のみならず、企業

の生の声としてしっかりと受け止めていきたいと思います。一方で「医師の健康」が担保されることも医療安全・患者の安心の為に必要であると認識しています。またコロナ禍で多くの人々の働き方が見直されてまいりました。これからは二ユーノー



の生の声としてしっかりと受け止めていきたいと思います。一方で「医師の健康」が担保されることも医療安全・患者の安心の為に必要であると認識しています。改革ありきの押し切りは地域医療を壊しかねないと私も同意見であります。

一方で「医師の健康」が担保されることも医療安全・患者の安心の為に必要であると認識しています。改革ありきの押し切りは地域医療を壊しかねないと私も同意見であります。

側の支援のあり方などもようやく議論されるようになりました。あらゆる形での支援体制と働き方が変わることが、うまくかみ合っていくよう努力して参ります。

**羽生田俊**

実は日本医師会の「女性医師支援センター」の初代センター長は私がありました。ただ政府の「医師の働き方改革」に関しては絶対に「地域医療の継続性」というのは揺らいではいけません。一方でコロナ禍において医療従事者からこの状態が続くのであれば働き続けられないという声があることも事実であります。

そして医療を受ける患者にも医療のかかり方や複数主事医制など理解を頂かないといけない部分がある等、課題は山積しています。

働き方改革のみならずコロナ後の医療提供のあり方は大きな変革期になると感じています。医療提供側も医療を受ける者にとっても納得いく、そして継続性のある体制整備の構築に皆様のお声を頂きながら努めて参りました

いと思います。

## 「こども庁」 創設に向けて



参議院議員/医師  
自見はなこ

いつも大変お世話になっております。新型コロナウイルス感染症を巡っては、未だ厳しい情勢が続いていますが、ワクチン接種や医療提供体制を守るためにご尽力くださっている医療従事者の皆様に深く敬意を表します。高齢者や基礎疾患のある方も安心してワクチン接種を受けるためには、かかりつけ医をはじめとする医療従事者の皆様のお力が不可欠です。財政措置を含め、医療機関への支援を力強く求めて参る所存です。

併せて、現在は複数の省庁に所管が分かれている子ども政策を一元的に所管する「こども庁」の創設に向けても、取り組んでいます。

これは、2018年12月に成立した成育基本法(議員連盟会長:河村建夫、会長代行:羽生田俊、事務局長:自見はなこ)の附則にある、行政組織のあり

方等について検討し、必要な措置を講じるという規定に基づいています。

医療や教育、児童虐待や青少年の自殺、学校でのいじめなど、子ども達を巡る問題が行政の縦割りの谷間に落ちて適切に対応されないということは、あってはならないことです。子ども達の健やかな成長発達を妊娠期から切れ目なく支援するため、「こども庁」は是非とも必要です。

本年2月に議員勉強会「Children Firstの子ども行政のあり方勉強会」を立ち上げ、提言を取りまとめ、4月1日に菅義偉総理大臣に申し入れを行い、4月13日には検討の場として自民党總裁直属の「こども・若者」輝く未来創造本部が立ち上がり、役員を拝命致しました。今後もしっかりと議論を深めて参ります。引き続きご指導ご支援のほど、心よりお願い申し上げます。

### 【羽生田たかし国会事務所】

〒100-8962  
東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館319号室  
TEL:03-6550-0319  
FAX:03-6551-0319

### 【羽生田たかし群馬事務所】

〒371-0022  
群馬県前橋市千代田町2-10-13  
TEL:027-289-8680  
FAX:027-289-8681

WEB通信配信中  
アドレス登録は  
こちらから

羽生田たかしオフィシャルサイト▶  
<https://www.hanyuda-t.jp/>

f 羽生田たかし 検索

公式アカウント▶@hanyuda\_takashi  
メール▶mail@takashi-hanyuda.com



オフィシャルサイト

ワクチン接種を希望するにも関わらず、接種できないまま執務をする事がありうる状態であります。これに関しては河野大臣が日々少しずつ緩和をしていますが、医療現場の実情にはなかなか追いついていないよう感じています。本来は継続的に接種勧奨を行い、正しい情報提供によって接種を希望する方をとりこぼすことなくワクチンを提供出来る事が望ましいと考えています。とにかくコロナワクチン接種に関しては医療界、医師としての使命として、接種を希望する国民・県民に対しきちんとワクチンが届けられるよう努力して参ります。

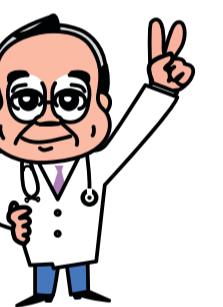
菊岡会長をはじめ、神奈川県下の医療提供体制、そして今般のワクチン接種に際しましてご尽力を頂いております事に感謝を申し上げます。

また、副大臣という立場で言えば全国の医療関係職種の皆様には大変なご苦労をご負担をおかけして地域医療を懸命にお支え頂いていることに心よりの感謝と敬意を表したいと思います。

先日羽生田先生にもご質問いただき私が答弁を致しましたが、予防接種という観点でいかなるワクチンに関してもその情報がきちんと伝わる、これは大

変重要なことであり、ましてや接種機会を逃すことはあつてはならないと考えています。私はHPVに関し政治家となつた責任として、接種を希望する方へワクチンを届けられる仕組みを構築する使命があると考え活動しています。子宮頸がんは年間約1・1万人が罹患し約2800人が亡くなっている疾患であります。ワクチン接種により大幅に罹患率を下げる事が可能であります。勿論HPV以外のワクチンも同様であります。勿論HPV風疹は注射一本で赤ちゃんを守る事ができます。是非さまざまな疾患を知ることにより、それが予防接種を知つて頂き、接種率の向上を図り、感染から自分を守れる疾病を知つて欲しいと願っています。

ワクチンで防げる疾患、そして定期的に検診を受けて頂くことで早期発見早期治療に繋げることが大切であります。菊岡会長もひしひしと感じておられると思いますが、コロナ禍において健康診断や検査を見送ったり、後回しにする方が多くあり、本来早期に発見出来たものが重症化してからの治療になるのではないかと心配する声があります。厚労省としても自治体と連携し、しっかりと取り組んで頂きたいと思っています。



### 三原じゅん子 厚生労働副大臣



### テーマ2

## 医療現場での医師の働き方改革について

医療現場での働き方改革は再考や熟慮が必要

三原副大臣の担当であります「働き方改革」であります。現在コロナ禍においてコロナ対応病院が主として地域の拠点、基幹病院であり、目の前のコロナ患者と向き合っているのが現状です。「働き方改革」「時短計画」



「自己点検」といつても、とても対応出来る状況にならぬまでも、や人員の確保もままならない中、インター・バルや代替休といふことを唱えられても、とても現在の医療現場では対応できない状態であり、医療現場で働き方改革は再考や熟慮が必要

の働き方改革は再考や熟慮が必要であると感じています。

### 菊岡正和 神奈川県医師会会长

神奈川県下において、「働き方改革」はまだ取り組めている所が少ないと感じています。医療現場において「医師の健康の確保」が重要である事は十分認識していますし、若い世代の医療者は家庭や自分の時間も大切にしていることも認識しています。しかしながら地域医療を担うという使命と責任において、それだけで医療を守れる訳ではありません。

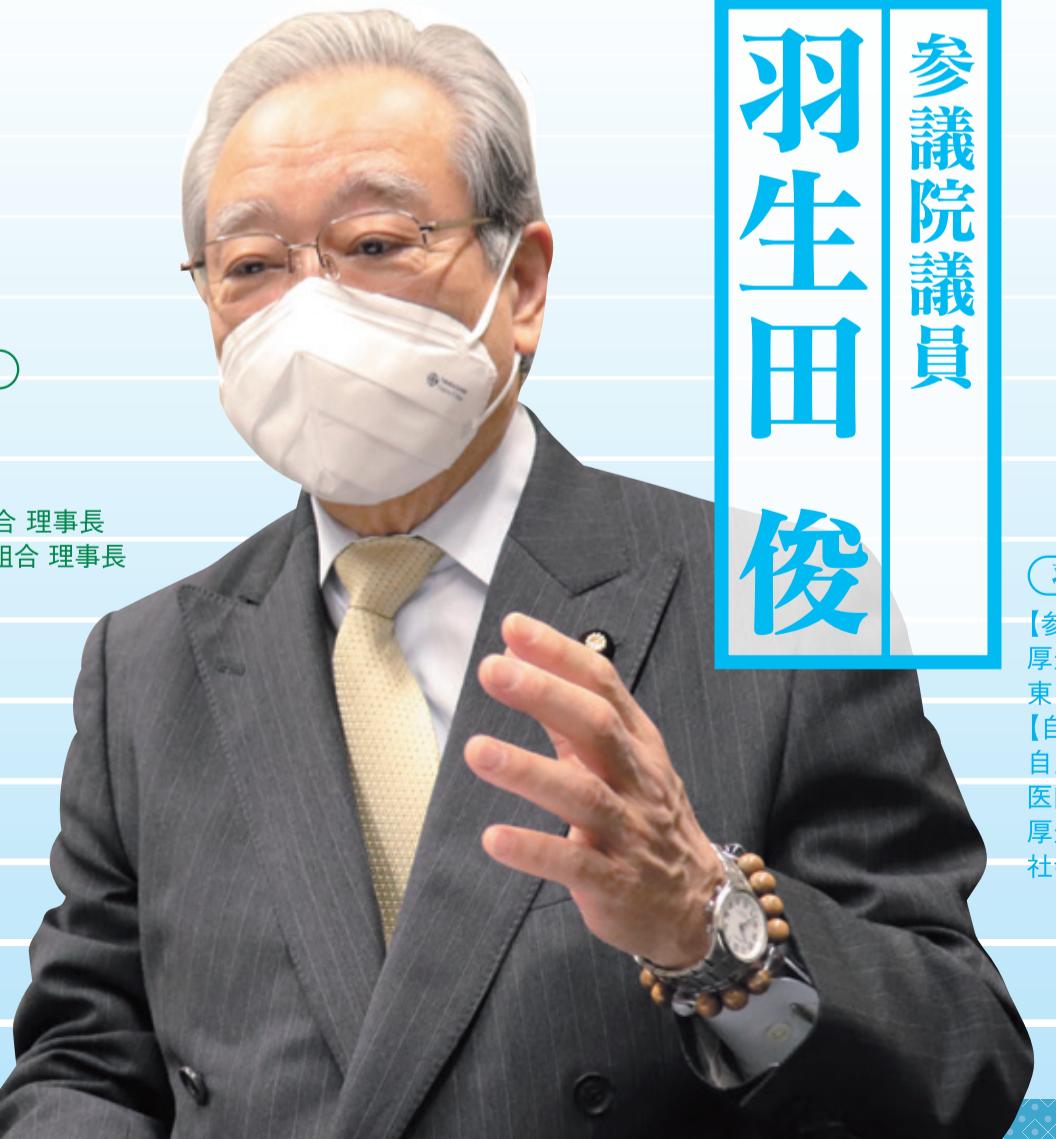
まして、診療時間以外でもあらゆる地域活動などにも参加し関わってきた先輩方が繋いできました。しかも多くのことは知つて頂きたいと思います。(4面につづく)



## 菊岡正和

### 神奈川県医師会会长

**菊岡正和会長プロフィール**  
神奈川県医師会 会長  
日本医師会 理事  
神奈川県医師信用組合 理事長  
神奈川県医師国民健康保険組合 理事長  
神奈川県医療従事者健康保険組合 理事長  
神奈川県学校保健連合会 会長



## 羽生田俊

### 参議院議員

**三原じゅん子副大臣プロフィール**  
参議院神奈川選挙区(二期目)  
【参議院】  
厚生労働委員会 委員長  
消費者問題に関する特別委員会 委員長  
【自由民主党】  
女性局長  
HPVワクチンの積極的観察再開を目指す議員連盟  
不妊治療への支援拡充を目指す議員連盟

**羽生田俊プロフィール**  
【参議院】  
厚生労働委員会 委員長  
東日本大震災復興特別委員会 理事  
【自由民主党】  
自民党 副幹事長  
医師の働き方改革PT 座長  
厚生労働部会 部会長代理  
社会保障制度調査会 幹事

## 三原じゅん子

### 羽生田俊

**厚生労働副大臣**

菊岡会長をはじめ、神奈川県下の医療提供体制、そして今般のワクチン接種に際しましてご尽力を頂いております事に感謝を申し上げます。

また、副大臣という立場で言えば全国の医療関係職種の皆様には大変なご苦労をご負担をおかけして地域医療を懸命にお支え頂いていることに心よりの感謝と敬意を表したいと思います。

先日羽生田先生にもご質問いただき私が答弁を致しましたが、予防接種という観点でいかなるワクチンに関してもその情報がきちんと伝わる、これは大

変重要なことであり、ましてや接種機会を逃すことは知らないままならないと考えています。私はHPVに関し政治家となつた責任として、接種を希望する方へワクチンを届けられる仕組みを構築する使命があると考え活動しています。子宮頸がんは年間約1・1万人が罹患し約2800人が亡くなっている疾患であります。ワクチン接種により大幅に罹患率を下げることが可能であります。勿論HPV以外のワクチンも同様であります。勿論HPV風疹は注射一本で赤ちゃんを守る事ができます。是非さまざまなもの疾患を知ることにより、それが予防接種を知つて頂き、接種率の向上を図り、感染から自分を守れる疾病を知つて欲しいと願っています。

